

米子工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	日本語教育 I	
科目基礎情報							
科目番号	0047		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	電気情報工学科		対象学年		3		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	毎回プリントを配付						
担当教員	永田 俊樹,布施 圭司						
到達目標							
1) 日本語能力試験N2の合格を目指すこと 2) 日本語能力試験N1を受験する実力を培うこと 3) ニュースや新聞の日本語が理解出来ること 4) 日本人と意見交換ができるだけの日本語能力をつけること							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	日本語能力試験N2に合格できる。		日本語能力試験N2を受験できる。		日本語能力試験N2を受験できない。		
評価項目2	日本語能力試験N1を受験できる。		日本語能力試験N1を受験に近い。		日本語能力試験N1を受験できない。		
評価項目3	新聞の日本語が理解できる。		新聞の日本語がやや理解できる。		新聞の日本語が理解できない。		
評価項目4	日本人と意見交換できる。		日本人とだいたい意見交換できる。		日本人と意見交換できない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 A-2							
教育方法等							
概要	日本初級コースを終了した留学生を対象とし、さらに日本語能力を発展させることを目指す。ある程度の読解はできるが、話す能力はまだ低い学生が多いので、できる限り発言の機会を与え日本語に慣れてもらう。従って、教授法は日本語を日本語で教えるダイレクトメソッドを採用する。						
授業の進め方・方法	毎回問題集を中心にいろいろな日本語を扱い、問題演習と共に、口頭で自分の意見を効果的かつ論理的に述べる練習をする。英語での解説はできるだけ少なくし、原則として日本語を使って教授する。						
注意点							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	漢字 読み方 1		漢字の読み方を知識として得る		
		2週	漢字 読み方 2		漢字の読み方を知識として得る		
		3週	漢字 読み方 3		漢字の読み方を知識として得る		
		4週	漢字 書き方 1		漢字の書き方を知識として得る		
		5週	漢字 書き方 2		漢字の書き方を知識として得る		
		6週	漢字 書き方 3		漢字の書き方を知識として得る		
		7週	語彙 適語の選択 1		適語を選択できるように知識を得る		
		8週	語彙 適語の選択 2		適語を選択できるように知識を得る		
	2ndQ	9週	前期中間試験		前期中間試験に取り組み、到達目標を確認する		
		10週	語彙 単語の意味 1		単語の意味について知識を得る		
		11週	語彙 単語の意味 2		単語の意味について知識を得る		
		12週	語彙 単語の意味 3		単語の意味について知識を得る		
		13週	読解 同義文 1		同義文について知識を得る		
		14週	読解 同義文 2		同義文について知識を得る		
		15週	定期試験				
		16週	まとめ		間違った問題の正答を求めることができる		
後期	3rdQ	1週	読解 要旨の把握 1		要旨の把握について知識を得る		
		2週	読解 要旨の把握 2		要旨の把握について知識を得る		
		3週	読解 要旨の把握 3		要旨の把握について知識を得る		
		4週	読解 長文の総合問題 1		長文の総合問題に取り組み、知識を得る		
		5週	読解 長文の総合問題 2		長文の総合問題に取り組み、読解についての知識を得る		
		6週	読解 長文の総合問題 3		長文の総合問題に取り組み、読解についての知識を得る		
		7週	読解 長文の総合問題 4		長文の総合問題に取り組み、読解についての知識を得る		
		8週	後期中間試験		後期中間試験に取り組み、到達目標を確認する		
	4thQ	9週	文法 穴埋め問題 1		穴埋め問題に取り組み、文法についての知識を得る		
		10週	文法 穴埋め問題 2		穴埋め問題に取り組み、文法についての知識を得る		
		11週	文法 文章完成問題 1		文章完成問題に取り組み、文法についての知識を得る		

		12週	文法 文章完成問題 2	文章完成問題に取り組み、文法についての知識を得る
		13週	総合演習 1	総合演習に取り組み、知識を定着させる
		14週	総合演習 2	総合演習に取り組み、知識を定着させる
		15週	定期試験	
		16週	まとめ	間違った問題の正答を求めることができる

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	1	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	1	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	1	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	1	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	1	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	1	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	1	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	1	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	1	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	1	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	1	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	1	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	1	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	1	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	1	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	0	0	0	50	0	100
基礎的能力	50	0	0	0	50	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0